



堀岡 敏喜 議員

**小・中学校の耐震化率は  
100%を目指すべきではないか**

あり、先送りは許されないと  
思うがどうか。



耐震補強工事が行われる弥生小学校

**22年度末までに完了  
させる計画で進める**

**答 市長**

22年度末までには校舎  
の耐震化を完了させる計画  
を進めていく。

**問**

四川大地震では学校校舎  
が倒壊し、多くの子どもた  
ちが犠牲になった。

小・中学校の耐震化率は  
現在どのようになっているのか。

**答 教育部次長**

20年度当初で63%である。

**問**

学校は災害時、地域の防  
災拠点としての役割もある。  
目指すべきは100%で

**エコハイブリッド  
街灯の設置を**

電柱の無い所は早い時期  
にソーラーライトという方  
向で考えていきたい。

**問**

エコハイブリッド街灯は  
太陽光電池と風力発電機を  
備え、CO<sub>2</sub>排出量はゼロで  
ある。避難所に設置すれば、  
地球温暖化防止の啓発にな  
ると考えるがどうか。

**21年は2つの学校  
で実施したい**

**答 市長**

環境教育の一環として、  
21年は2つの学校で実施し  
ていこうと思っている。

**問**

洞爺湖サミット開催日の7  
月7日を弥富クールアースデ  
イと宣言し、施設や家庭等の  
電力使用を一定時間控えるラ  
イトダウン運動を推進する機

会を設けてはどうか。

**答 市長**

筏川の噴水や水郷の塔は  
(国の)ライトダウンキャンペ  
ーンに参加していきたい。公  
共施設から対応していきたい。

**使用済み携帯電話の  
再資源化PRを**

**問**

使用済み携帯電話には金  
などレアメタルが含まれ、  
有効な資源回収ができる。

しかし、消費者の認知度  
が低いので、情報提供が必  
要であると思うがどうか。

**広報で住民に啓発  
していきたい**

**答 環境課長**

今後のメーカーのさらな  
るアイデアに期待すべきで  
あると考える。

しかし、こういった面に  
ついては広報で広く住民に  
啓発をしていきたい。